

# きここち。

Yamane\_mokuzai quarterly magazine 'Kicocochi' 2018 / Winter



特集

都心に  
住まう。

家は、風土。  
—木と暮らす。— 実例 8

特集  
都心に  
住まう。

広島駅から徒歩10分。  
八丁堀まで徒歩10分。  
マツダスタジアムまでは徒歩5分。  
そんな広島市の  
都心に暮らすH様。  
父母から譲り受けた  
この住まいをリノベーションし、  
家族4人で心地良く暮らす。

Feature!

Wood house

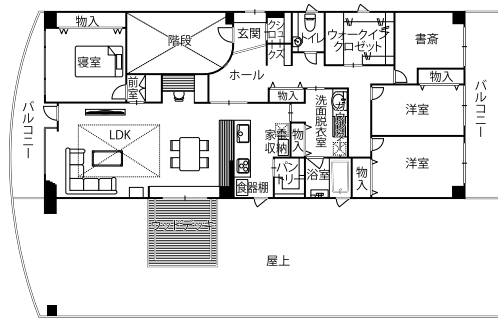
in the

City

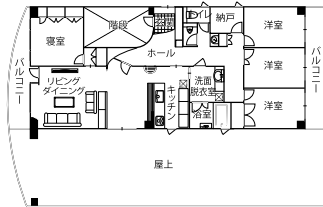
kicocochi.

南側から入る暖かな日だまりでくつろぐH様。都心でありながら開放感を持たせている





After



Before

結婚し、2人目の子どもが誕生したタイミングでリノベーションを行った日様。この部屋はご両親が建てたビルの最上階を譲り受けたもの。コンセプトは、父がこだわった意匠や空間を残すこと、親子4人が快適に暮らせること。「徒歩圏内に広島駅があるのでどこでも行けるし、比治山公園はとっておきの散歩コース。マツダスタジアムの歓声も聞こえる広島ならではの場所ですね。でも僕にとつてここは、あくまでも実家なんですすよね」とご主人は笑う。

父母の愛着が残る  
都心の住まいで  
新しい暮らし



ビルは築20年を超える。間取りは変えず壁や床を張り替えて、ワークスペースや収納棚などを新しく取り付けた



okiniiri

Work space

手芸やアロマセラピーの勉強をしている奥様のワークスペース。子どもたちの成長記録も残している

これから刻まれる

家族4人の歴史



毎年家族が増えている家族写真コーナー。専用のフックを取り付けた



リビングはご主人の父がこだわったドーム型の天井やスピーカーをそのまま残した。飾るものによって棚の大きさを変えられる横格子の壁面収納は部屋のアクセントに。そして奥様のワークスペースやシューズクロゼット、キッチンや洗面室はリノベーションを機に一新した。玄関ホールには毎年同じフォトグラフィアールに撮ってもらおうという家族写真が並んでいる。

南向きの屋上スペースからたっぷり陽が入るダイニングは、この家の特等席だ。お子さんは2歳と生後3カ月。これから新しい家族の歴史が始まる。



目の前を幹線道路が走るH様邸のあるビル